



みんなで 笑った 踊った 泣いた

8月27日、28日にあそ公園とまちの駅「アウル」で、「24時間テレビチャリティーイベント」が行われ、町民約3千人が集いました。

あそ公園に用意された特設ステージでは、コンサートやヨサコイ、クイズなど学生が趣向を凝らしたイベントを繰り広げ訪れた人を楽しませたほか、青少年ボランティアのジュニアリーダーも集まった子供たちと餅つきをするなど楽しいひと時を過ごしました。

また、このイベントに協賛するお店や商工会女性部、高齢者サロンさくら館などが飲食コーナーを設け、来場者が思い思いにくつろぐ姿が目についたほか、フィナーレでは、2日間のイベントを成し遂げた学生が涙を見せるシーンが印象的でした。

若者の力を起爆剤に

このイベントは、学生が地域福祉を学ぶ場として、また障がい者や高齢者も共に豊かに暮らせるまちを目指し、町民との様々な交流を通して福祉を理解してもらおうと「ゆうゆう24」に登録する北海道医療大学生が中心になって企画準備し開催されたものです。

4年前に町民と交流したいという思いから学生が取り組み、後輩にその思いが受け継がれ、町民の協力を得ながらこの町に根付いたイベントに成長してきました。全国各地から集まる学生は、当別を知り町民とつながりを持つことで自分たちのことも知ってもらおうと、町内のイベントにも積極的に参加し応援してくれています。

本町は“町”でありながら大学を有し、若い力が潜在的に存在するまちです。学生がイベントを通してまちづくりに参加してきた今、私たちはそんな若者の力を、一つの起爆剤と捉え、新しいまちづくりにつなげていけると良いですね。

面白いね手作り紙芝居



学生とゆうゆう24に通う児童が協力して作った大紙芝居。みんな紙芝居に釘付け。

みんなで交流ティーボール



24時間続けた大会に44チーム約450人が参加。子どもからお年寄り、障がいの方も参加し、打って投げて走って笑顔がこぼれました。

楽しく幸せに生きられる町に

実行委員長 小西 力さん

高齢者や障がい者、おとなから子供までみんなが参加できるこの24時間テレビチャリティーイベントでは「生きる」をテーマに言葉では伝えにくい「障がい」についてイベントを通して町民の方知ってもらい、自分たちの福祉活動にもっと理解を深めてもらおうとイベント内容を工夫しました。

障がい者や高齢者が希望を持って生きていけるようなまちになればと考えています。



チャリティーイベント実行委員会メンバー

左から 小西力さん、高松慎矢さん、笠間修二さん、羽下慶祐さん、山崎照弓さん

学生の声

イベントのテーマ「生きる」の意味を追求しながら、障がい者や高齢者などに対する福祉活動を理解してもらおうイベントにすることが大変でした。

その中でも、絵記号で自分の意思を伝える「コミュニケーション支援ボード」を使つてのクイズ大会では、事前に商店街にこの支援ボードを張り出して啓発しながら行つたのですが、たくさんの子供たちの参加があり、正解率も高く、みんな見てくれたのだと感じました。

実行委員の学生が町民「100人の声」をビデオに収録するため町内を走り回り協力をお願いする機会がありました。みなさんが快く引き受けてくれて、このまちの暖かさに触れることができました。

町民とふれあうことで当別を身近に感じられるようになりました

イベントを終えても町民の方に「がんばったね」と声を掛けられるようになり、このまちを身近に感じられるようになりました。

今回のイベントを通して子供から高齢者、障がい者まで誰もが住みやすい町になってほしいという思いは伝えられたと思います。

町民の方とイベント準備をしていく中で難しい面や反省することもありましたが、これから社会に出て行く上で必要なことが勉強できて自分たちも良い経験になりました。これからまちの皆さんが主催するイベントにも積極的に参加して町民の方と親しくなり、当別に関わりを持って有意義な学生生活にしたいです。

町民の声

多くの町民や団体が一緒に参加してほしいですね

さくら館 代表 高木 馥美さん

さくら館で高齢者サロンを運営していますが、3年前に下宿していたゆうゆう24の学生から「おばさんの料理がおいしいからイベントで出店してほしい」という一言のお願いからこのチャリティーイベントに関わることになりました。

今回は、さくら館に通う高齢者がつけものやいなり寿司を自分たちで作って出店で販売し、とても好評でした。

イベントに協力することは、普段、社会参加することが少ない高齢者の生きがいづくりにもつながり、学生とのより良い関係づくりにもなると思います。これからは、町民とイベントをつくり上げようとする学生さんに、町民側も協力する姿勢が大切だと思います。個人や団体がもっともっと参加していけばイベントを開催する意味も深くなるのではないのでしょうか？

集まったよチャリティー募金



みなさんの協力により、2日間で16万8千854円の募金が集まりました。これは、福祉活動などに活用されます。

手をつないでフォークダンス



商店街を歩行者天国にしてのフォークダンス。青空の下、学生と町民が手をつないで踊って楽しく交流。